

薬学部3年生向け 文献検索ガイダンス

2015年10月28日(水)
長崎大学附属図書館
(学術情報サービス班)

本日の目的

学習や研究を行う上で必要な情報探索
の基礎的な知識と技能を身につける!!

- ・図書・雑誌の検索方法
- ・電子ジャーナルの利用方法
- ・海外文献の検索プロセス
- ・参考文献の見方



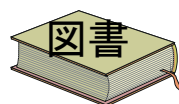
などについて解説します。
最後に情報探索実習に取り組んでもらいます。

1. 図書・雑誌を探す



長崎大学図書館OPACをクリック

図書と雑誌



1冊で完結

基本的な知識や
全体像を掴むのに有効



定期的に刊行
1冊に複数の論文

特定のテーマに関する
研究の成果のまとめ

テーマに特化した内容。
最新の知見が得られる。

OPAC (オーパック)

長崎大学で所蔵している図書・雑誌を探す
→長崎大学図書館OPACで検索します。



<詳細情報画面>



図書の貸出期間は2週間
延長は2回まで可 } 最長6週間

※予約が入っていない場合

貸出冊数

開架:10冊まで
書庫:10冊まで

Webサービス(MyLibrary)を
活用すると、とても便利!

本の予約
取り寄せ

返却期限
の確認

貸出期間
の延長

他大学
への依頼



パソコンから**長大ID**で
ログインしてください。

医学分館・経済学部分館で所蔵する図書を
中央図書館に取り寄せ、借りることができます。

※一部資料・雑誌を除く

図書配送申込書		中央館	平成 年 月 日
書名			
図書ID			
所在	請求記号		
申込者名			
利用者ID	※ 図書借入履歴バーコードの下の数字をご記入ください		
雑誌	◎		
連絡先			
連絡日			

※ 図書は、連絡をさしあげてから 1 週間以内に取りにお越しください。ご都合により
無様な場合は、必ずご連絡ください。

※ メールアドレスの登録は、OPACメニューの登録情報変更からできます。

※ 授業等で電話に出られないことがある方は、メールアドレスもご記入ください。

ご希望の方は、カウンターでお申込みください。

研究室所蔵資料を利用したい場合は
カウンターでお申込みください。

研究室所蔵資料利用申込書		中央館	平成 年 月 日										
1. 申込者	<table border="1"> <tr> <th>氏名</th> <th>所属</th> <th>連絡先</th> <th>メールアドレス</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			氏名	所属	連絡先	メールアドレス						
氏名	所属	連絡先	メールアドレス										
2. 所蔵資料	<table border="1"> <tr> <th>書名</th> <th>著者</th> <th>発行年</th> <th>冊数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			書名	著者	発行年	冊数	備考					
書名	著者	発行年	冊数	備考									
3. 貸出希望	<table border="1"> <tr> <th>書名</th> <th>著者</th> <th>発行年</th> <th>冊数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			書名	著者	発行年	冊数	備考					
書名	著者	発行年	冊数	備考									

長崎大学に所蔵がない場合は、他の大学に
図書貸出の申込みができます(有料)

文献 貸出 申込書 (貸出 申込書)		中央館	平成 年 月 日										
1. 申込者	<table border="1"> <tr> <th>氏名</th> <th>所属</th> <th>連絡先</th> <th>メールアドレス</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			氏名	所属	連絡先	メールアドレス						
氏名	所属	連絡先	メールアドレス										
2. 所蔵資料	<table border="1"> <tr> <th>書名</th> <th>著者</th> <th>発行年</th> <th>冊数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			書名	著者	発行年	冊数	備考					
書名	著者	発行年	冊数	備考									
3. 貸出希望	<table border="1"> <tr> <th>書名</th> <th>著者</th> <th>発行年</th> <th>冊数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			書名	著者	発行年	冊数	備考					
書名	著者	発行年	冊数	備考									

費用は往復の送料。1週間程度で到着します。

サイニー ブックス
CiNii Books: 大学図書館の本をさがす

長大に所蔵があれば、一番上に
長崎大学の名前が表示されます。

OPACをクリックすると、OPAC画
面が開きます。

長崎県内の図書館も活用しましょう

複数の図書館の蔵書を
一度に検索できます。

公共図書館ならば、
送料無料で図書の
貸出申込みが可能。

国内の大学図書館に所蔵がない場合は、**国立国会図書館**の蔵書を調べてみましょう。



13

OPACの特徴

図書の
タイトル

著者名
出版社名

図書の
内容

図書の内容は検索対象とならず、書名や著者名などにキーワードが含まれているものだけを検索します。

→キーワードが含まれていなければ、内容が合致していても、検索できません。

14

図書の内容から資料を検索したい

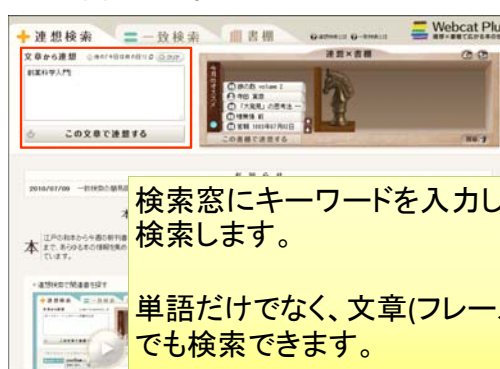
→図書連想検索(Webcat Plus)がおすすめ



図書連想検索(Webcat Plus)をクリック

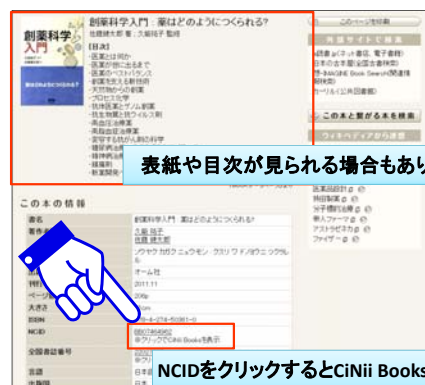
15

図書連想検索(Webcat Plus)



16

<詳細情報画面>



NCIDをクリックするとCiNii Booksが開く。

17

2. 電子ジャーナルナビゲーション

電子ジャーナルとは？

＝雑誌論文を電子化し、Web上で見られるようにしたもの

- ・24時間利用ができる
- ・冊子体より早く読めることもある(Epub a head of print)
- ・行方不明、誰かが読んでいるといったこともない
- ・引用文献や参考文献への直接リンク

OPACや文献情報データベースからのリンク、または長崎大学で利用可能な電子ジャーナルをまとめた「**電子ジャーナルナビゲーション+**(プラス)」というポータルサイトから利用してください。

電子ジャーナルナビゲーション +

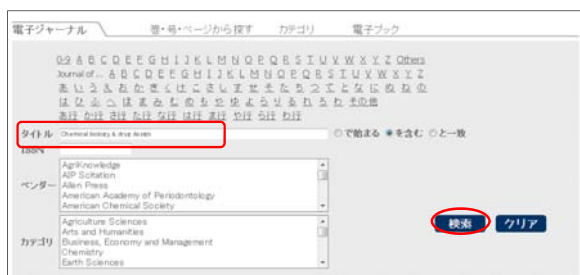


「電子ジャーナル」をクリックしてください。

検索画面



Chemical biology & drug design というジャーナルを検索してみましょう。



<検索結果画面>

Chemical biology & drug design [1747-0277] OPAC

利用可能開始: 2006年 to 現在 最近 1年 利用不可 in EBSCOhost Academic Search Premier

利用可能開始: 2006年 to 現在 in Wiley Online Library

ヒットしても、全ての本文が利用可能ではありません。
→ 利用可能開始の内容をチェックしましょう。

•EBSCOhost Academic Search Premier

→2006年～1年前(現在であれば、2014年9月号)までの論文が閲覧可能。

=最新1年分の論文は利用できない

•Wiley Online Library

→2006年から現在(2015年10月号)までの論文が閲覧可能。

最新の論文の場合は、「Wiley Online Library」を利用することになります。

サイト名をクリックすると、ジャーナルのページが開きます。

電子ジャーナルの形式



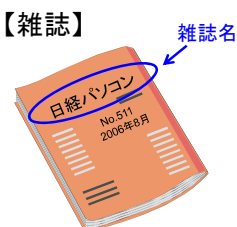
HTML・・・ホームページの形式(リンクがある)

PDF・・・印刷した時に雑誌を印刷した時と同じ形式

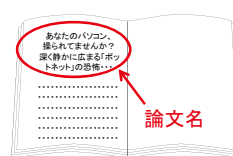
Adobe Reader等を使って開く、電子フォーマット。

3. 雑誌記事・論文を探す

【雑誌】



【雑誌の中身】



OPACは、探している資料が
長崎大学に所蔵しているか
どうかを検索するシステム

雑誌に掲載されている論文の
情報(論文名や著者)までは、
OPACでは確認できません。

⇒文献情報データベースを使います。

自然科学系の情報探索

1. 過去の研究に関する探索(遡及調査)
2. 最新の研究動向の探索
コアジャーナルの最新号、文献データベースのアラート機能
3. 関連文献に関する探索
論文に記載された引用文献、参考文献
4. ファクト情報の探索
物質の性質に関する計測・分析データなどの一次情報

自然科学系
→関連する研究成果の利用が特に重要な分野

文献情報データベース

学術雑誌に掲載されている論文の情報を集めたデータベース。組織的・網羅的な調査が可能

国内論文 --- CiNii, 医学中央雑誌

海外論文 --- Scopus, PubMed



- ・検索結果の抄録による、要/不要を選別
- ・論題・著者および掲載箇所を確認

国内論文を探す: **CiNii**(サイニー)

サイニー アーティクルズ
CiNii Articles

The screenshot shows the CINI Articles search page. Annotations include:

- A red box around the top navigation bar with the text: "日本語全文（正解）" (Full Japanese text (Correct)).
- A yellow box around the "オープンアクセス" (Open Access) and "定額アクセス可能" (Possible to access for a fixed fee) links with the text: "の論文は、本文まで利用可能" (The paper is available for use up to the full text).
- A red box around the "本拠品 シェアリンク" (Main product Share link) button.
- A green box around the search input field with the text: "キーワードで検索できます" (You can search by keyword).

The search interface includes a search bar, a search button, and a list of search results. The search results table has columns for Title, Author, Year, and Access Status.

<検索結果一覧画面>

[illegible]

＜詳細情報画面＞



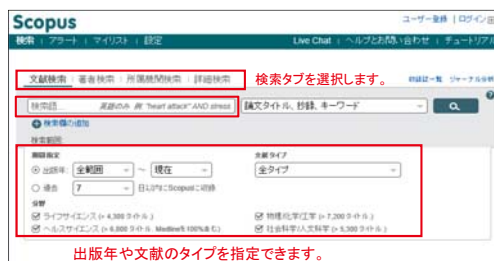
雑誌と同じ形で論文を読むことができます。
印刷することもできます。

31

海外論文を探す：Scopus



Scopus (スコーパス)



出版年や文献のタイプを指定できます。

検索ボックスにキーワードを入力して検索します

例題1

drug delivery system (薬物送達システム) について論じている
海外論文を調べてみましょう。



キーワードが、フレーズの場合は、フレーズ検索をしないと、独立した単語としてみなされてしまいます。

Scopusのフレーズ検索は、2通りあります。

"" (ダブルクォーテーション) で括って検索

{ } (中括弧) で括って検索

両者の違いは、曖昧か厳密かです。

"" (ダブルクォーテーション) 曖昧なフレーズ検索

記号を無視し、単数・複数の両方を検索してくれます。

例えば、今回の "Post-Kyoto Protocol" であれば、

Post Kyoto Protocol (ハイフンなし) も一緒に検索します。

{ } (中括弧) 厳密なフレーズ検索

例えば、今回の {Post-Kyoto Protocol} であれば、

Post Kyoto Protocol (ハイフンなし) は検索しません。

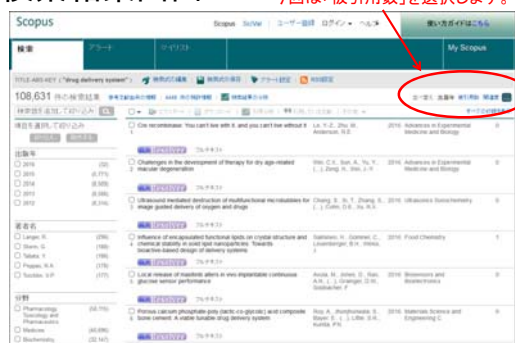
"drug delivery system"

と入力して検索してみましょう



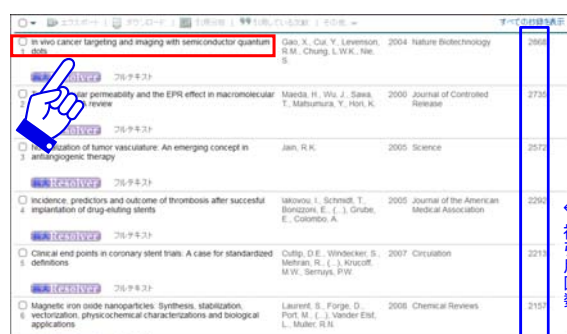
検索結果画面

ここで並べ替えができます。
今回は「被引用数」を選択します。



初期設定では、論文は新しいものから表示されます。
雑誌名順、被引用回数順などに並び替えることもできます。

被引用回数が多い順に並び替わりました



タイトルをクリックすると、詳細画面が開きます。

詳細画面

電子ジャーナルが利用可能かどうかは、
緑色のGOボタンをクリックしてチェックします。



Scopus収録文献の中で、この論文を引用している文献の情報が
表示されます。この画面では最も新しい3件が表示されます。

長崎大学で契約している電子ジャーナルを確認



今回は、電子ジャーナルが利用可能なサイトが3つあります。
いずれかのコンテンツ名またはGOをクリックします。

出版社の該当論文ページにリンクします



上記のようなリンクを探しましょう。クリックすると、本文が開きます。

フルテキストがPDF形式で開きます。

ロゴをクリックすると最初の画面に戻ります。



【検索演習 1】

- ① Therapeutic drug monitoring (治療薬物モニタリング) に関して論じている論文をScopusを用いて調べて下さい。
- ② 検索結果の中から、最も被引用回数が多い論文を探して、フルテキストを開いてみましょう。

さらに一步進んだ検索を...

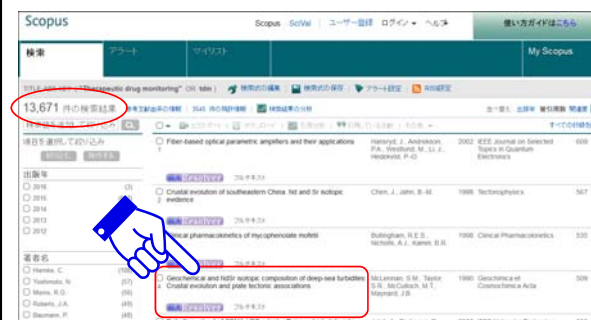


設定したキーワードが略語として使用される可能性がある場合は、検索漏れを防ぐために、略語も検索語に追加してみましょう。

今回の場合であれば、Therapeutic drug monitoring と、その略語である TDM の両方を検索語として設定します。どちらかを含めばいいので、論理演算子ORを使います。

“Therapeutic drug monitoring” OR TDM
フレーズ検索なので、“”で囲みます

ヒット件数が、6,879件から13,671件にアップ！！



電子ジャーナルが閲覧できなかった場合



クリックすると、OPACを自動検索します。



該当号の所蔵なし。学内での入手は不可。

長大専用URLを使ってください

長大専用のPubMedを用いて文献検索をすると、長崎大学の購読ジャーナルや無料提供雑誌の本文に、検索結果から直接アクセスすることができます。

◎長大専用URL:

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?otool=ijpnulib>
(通常のPubMedとはURLが異なります)

文献検索は学外からも利用可能です。
電子ジャーナル本文にアクセスする場合には、検索結果の右上に表示される **Resolver** をクリックし、長大IDとパスワードでログインしてご利用ください。

生命科学分野の論文検索データベース「PubMed(パブメド)」と呼びます。



例題2

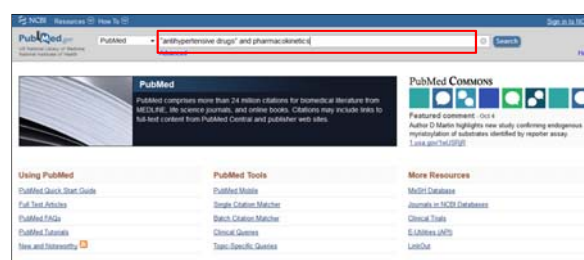
antihypertensive drugs(降圧剤)の pharmacokinetics(薬物動態)について論じている論文を調べてみましょう。

検索の
ポイント

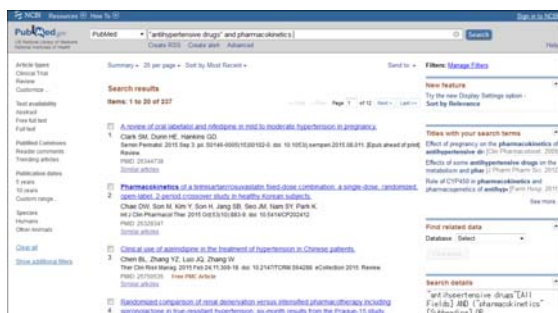


PubMedでもScopusと同じように、ダブルクォーテーションを用いて、フレーズ検索を行いましょう。

“antihypertensive drugs” and pharmacokinetics
と入力して検索します。



237件ヒットしました。



antihypertensive drugs
antihypertensive agents

どちらも降圧剤という意味だけど...



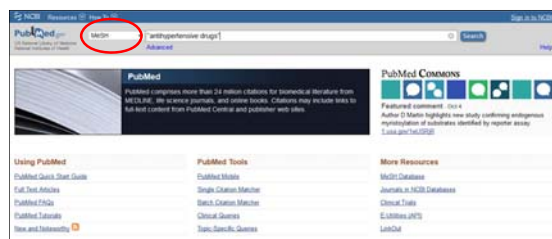
医学用語は著者によって表現が異なることがあり、表記の違いで検索漏れが生じてしまう場合があります。

↓
複数ある概念を統一させた代表的な言葉(MeSH)を用いて検索することで、回避します。

※Medical Subject Headings(医学主題標目)

→ 米国国立医学図書館(NLM)が定める生命科学に関する統制用語集

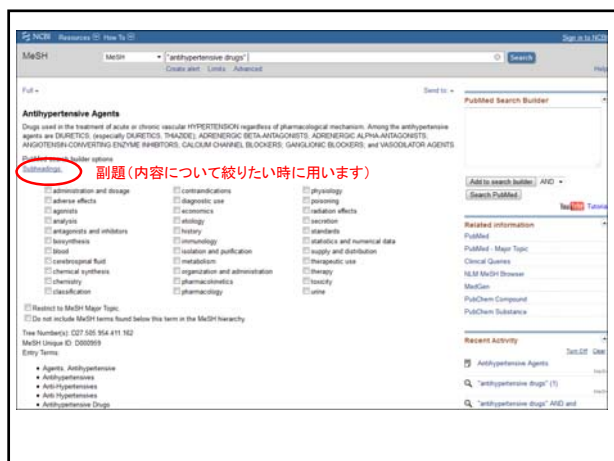
降圧剤のMeSHを調べてみましょう



検索窓横のタブをMeSHに切り替えて、
「antihypertensive drugs」と入力します。



統制した単語一覧。
「antihypertensive drugs」
も含まれています。

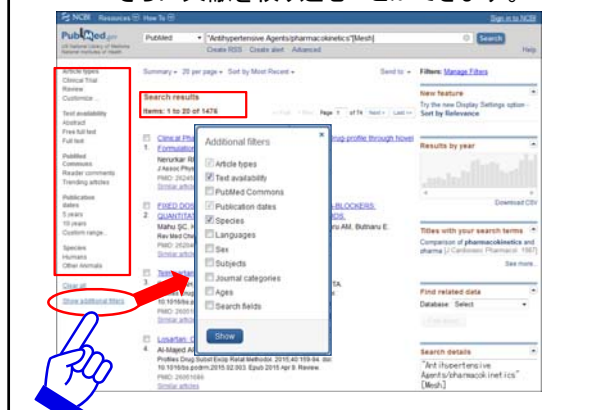


副題 (内容について絞りたい時に用います)

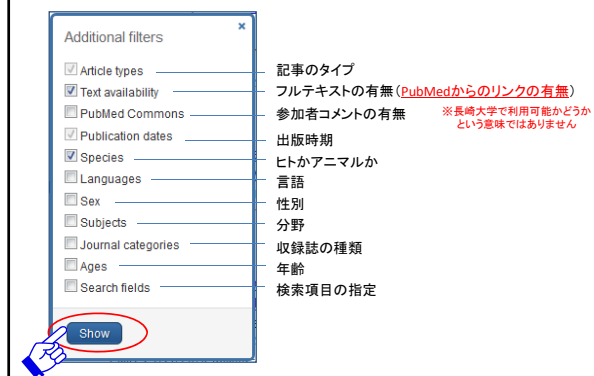


副題を選択して、Add to search builderをクリックします。
検索式がセットされたら、SearchPubMedをクリックします。

さらに文献を絞り込むことができます。



Filter (絞り込み機能)



記事のタイプ
フルテキストの有無 (PubMedからのリンクの有無)
参加者コメントの有無 ※長崎大学で利用可能かどうか
出版時期
ヒトかアニマルか
言語
性別
分野
収録誌の種類
年齢
検索項目の指定

クリックすることで、フィルターを設定することができます。

Search results: 1 to 20 of 187

Filters activated: Free full text. Click all to show 187 items.

1. To be drug or prodrug: structure-property exploratory approach regarding oral bioavailability.
Damão MC¹, Pasquato KF, Poli MC, Panse Filho R.
J Pharm Pharm Sci. 2014;17(4):532-40.
PMID: 25174132 Free PMC Article
Similar articles

2. Mechanisms for the treatment of pulmonary arterial hypertension.
Widdows CA, Fares WH, Trow TK.
Vasc Health Risk Manag. 2014 Nov 25;10:685-73. doi: 10.2147/VHRM.S10304. eCollection 2014.
PMID: 25414392 Free PMC Article
Similar articles

3. Antihypertensive drugs metabolism: an update to pharmacokinetic profiles and computational approaches.
Zhaki A, Mahdavi L, Haddadpour V.
Curr Pharm Des. 2012;18(18):304-22. Review.
PMID: 25341854 Free PMC Article
Similar articles

4. In silico experimental mechanistic model for extended release: fentanyl depot exhibits complex absorption and a highly variable food interaction.

掲載誌情報

論文のタイトル

著者名

Abstract

To be drug or prodrug: structure-property exploratory approach regarding oral bioavailability.
Damão MC¹, Pasquato KF, Poli MC, Panse Filho R.

Author information

Purpose: Prodrug design is a strategy that can be used to adjust physicochemical properties of drugs in order to overcome pharmacokinetic problems, such as poor oral bioavailability. However, Lipinski's and Veber's rules predict whether compounds will have absorption problems even before the design of prodrugs. In this context, our goal was to evaluate the molecular properties which most influenced the absorption process of prodrugs compared to its precursor through exploratory data analysis approach.

Methods: A variety of prodrugs and respective precursors were randomly selected and classified by its percentage of human intestinal absorption. Subsequently, different molecular properties were calculated and hierarchical cluster analysis (HCA) and principal components analysis (PCA) were carried out.

Results: According to the findings, antitumor, antihypertensive, and antibiotic prodrugs exhibited higher absorption levels than their respective precursors. Also, some relevant descriptors (molecular weight, MW, rotatable bonds, rot_bonds, hydrogen bond acceptors, HBA_count and polar surface area, PSA), which are included in Lipinski's and Veber's rules, influenced the separation process between prodrugs and drugs. Furthermore, other molecular properties, such as polarizability (α) and molar refractivity (MR), were pointed out.

Conclusion: Lipinski's and Veber's rules proved to be important to design an orally administered drug but other descriptors should be considered by medicinal chemists in the prodrug designing process.

PMID: 25174132 Published: released for MEDLINE. Free full text

雑誌名が略誌名で表示されます。正式な雑誌名は？

J Pharm Pharm Sci. 2014;17(4):532-40.

To be drug or prodrug: structure-property exploratory approach regarding oral bioavailability.
Damão MC¹, Pasquato KF, Poli MC, Panse Filho R.

J Pharm Pharm Sci. 2014;17(4):532-40.

略誌名の部分を左クリックして

Search in PubMed
Search in NLM Catalog
Add to Search

Search in NLM Catalog を選択

Journal of pharmacy & pharmaceutical sciences, a publication of the Canadian Society for Pharmaceutical Sciences, Société canadienne des sciences pharmaceutiques
Authors: Canadian Society for Pharmaceutical Sciences
NLM Title Abbreviation: J Pharm Pharm Sci
ISSN Abbreviation: J Pharm Pharm Sci
Volume: 17(4)
Page: 532-40
PMID: 25174132
Free PMC Article
Similar articles

Resolve

e-Journals Navigation

Abstract

To be drug or prodrug: structure-property exploratory approach regarding oral bioavailability.
Damão MC¹, Pasquato KF, Poli MC, Panse Filho R.

Author information

Purpose: Prodrug design is a strategy that can be used to adjust physicochemical properties of drugs in order to overcome pharmacokinetic problems, such as poor oral bioavailability. However, Lipinski's and Veber's rules predict whether compounds will have absorption problems even before the design of prodrugs. In this context, our goal was to evaluate the molecular properties which most influenced the absorption process of prodrugs compared to its precursor through exploratory data analysis approach.

Methods: A variety of prodrugs and respective precursors were randomly selected and classified by its percentage of human intestinal absorption. Subsequently, different molecular properties were calculated and hierarchical cluster analysis (HCA) and principal components analysis (PCA) were carried out.

Results: According to the findings, antitumor, antihypertensive, and antibiotic prodrugs exhibited higher absorption levels than their respective precursors. Also, some relevant descriptors (molecular weight, MW, rotatable bonds, rot_bonds, hydrogen bond acceptors, HBA_count and polar surface area, PSA), which are included in Lipinski's and Veber's rules, influenced the separation process between prodrugs and drugs. Furthermore, other molecular properties, such as polarizability (α) and molar refractivity (MR), were pointed out.

Conclusion: Lipinski's and Veber's rules proved to be important to design an orally administered drug but other descriptors should be considered by medicinal chemists in the prodrug designing process.

PMID: 25174132 Published: released for MEDLINE. Free full text

Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Sciences

Volume 17, No 4 (2014)

To Be Drug or Prodrug: Structure-Property Exploratory Approach Regarding Oral Bioavailability
Damão MC¹, Pasquato KF, Poli MC, Panse Filho R.
J Pharm Pharm Sci. 2014;17(4):532-40.
PMID: 25174132
Free PMC Article
Similar articles

ロゴをクリックすると PubMed のトップ画面に戻ります

PubMed

Abstract

To be drug or prodrug: structure-property exploratory approach regarding oral bioavailability.
Damão MC¹, Pasquato KF, Poli MC, Panse Filho R.

Author information

Purpose: Prodrug design is a strategy that can be used to adjust physicochemical properties of drugs in order to overcome pharmacokinetic problems, such as poor oral bioavailability. However, Lipinski's and Veber's rules predict whether compounds will have absorption problems even before the design of prodrugs. In this context, our goal was to evaluate the molecular properties which most influenced the absorption process of prodrugs compared to its precursor through exploratory data analysis approach.

Methods: A variety of prodrugs and respective precursors were randomly selected and classified by its percentage of human intestinal absorption. Subsequently, different molecular properties were calculated and hierarchical cluster analysis (HCA) and principal components analysis (PCA) were carried out.

Results: According to the findings, antitumor, antihypertensive, and antibiotic prodrugs exhibited higher absorption levels than their respective precursors. Also, some relevant descriptors (molecular weight, MW, rotatable bonds, rot_bonds, hydrogen bond acceptors, HBA_count and polar surface area, PSA), which are included in Lipinski's and Veber's rules, influenced the separation process between prodrugs and drugs. Furthermore, other molecular properties, such as polarizability (α) and molar refractivity (MR), were pointed out.

Conclusion: Lipinski's and Veber's rules proved to be important to design an orally administered drug but other descriptors should be considered by medicinal chemists in the prodrug designing process.

PMID: 25174132 Published: released for MEDLINE. Free full text

PubMedの便利な機能

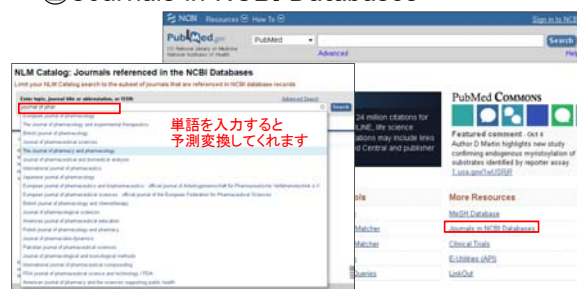
①Single Citation Matcher



巻号、ページ、出版年などの情報から論文を検索





PubMedの便利な機能

②Journals in NCBI Databases



略誌名やISSNなどの情報を調べることができます



その他の文献検索データベース

- ◆ **医学中央雑誌**  【同時アクセス9】
→ 国内発行の医学・薬学・歯学の学術雑誌の約6,000誌から収録した約870万件（2014年6月現在）の論文情報が検索可能。
- ◆ **メディカルオンライン** 
→ 国内発行の医歯薬学関連の雑誌の電子ジャーナルWebサイト。収録ジャーナル数は、1,100タイトル（2015年4月現在）。
- ◆ **SciFinder** 
→ CAS (Chemical Abstracts Service) が開発・提供している化学関連情報のオンライン検索データベース。
- ◆ **JDream III**  ※2015年3月まで
→ 科学技術振興機構 (JST) 提供の科学技術や医学・薬学関係の文献情報データベースサービス。

いずれも長崎大学で契約しています。データベースリンク集からご利用ください。

その他のデータベース

< 薬学関係データベース >

- ◆ **メディカルオンラインくすりデータベース** 
→ 医療用医薬品（先発品・ジェネリック・薬価未収載薬）、OTC医薬品の添付文書情報、薬価情報等を提供しているデータベース。各薬に関連したメディカルオンラインの文献やPubMedへのリンクもあります。
- ◆ **今日の診療WEB版**  【同時アクセス3】
→ 最新の研究成果に基づく、もっとも効果的な治療法の情報を簡単に検索できる医療従事者のための国内最大級のデータベースです。

いずれも長崎大学で契約しています。データベースリンク集からご利用ください。

< 薬学関係データベース >

- ◆ **The Cochran Library** 
→ 治療や予防のエビデンスとなる情報を探す際に有効なデータベース。システマティック・レビューなど複数のEBMデータベースを収録している。
長崎大学で契約しています。データベースリンク集からご利用ください。
- ◆ **iyakusearch** ※無料
<http://database.iapic.or.jp/nw/index>
→ 「医薬文献情報」「書誌情報の検索および」「学会演題情報」「医療用医薬品添付文書情報」「一般用医薬品添付文書情報」「臨床試験情報」「日本の新薬」「学会開催情報」「医薬品類似名検索」「効能効果の対応標準病名」も無料で利用できる。

学術文献専門の検索エンジン
Google Scholar (グーグル・スカラー)

学術資料の検索に特化したGoogle社の検索エンジン。
学術専門誌、論文、書籍、要約、記事などが検索対象となります。



Google ウェブ検索と同様、最も関連性の高い情報がページの上部に表示されます。
自分が欲しい情報かどうか、検索結果を上手に見極める必要があります。

<http://scholar.google.co.jp/>

今日、ご紹介したデータベースの一部は、
学外からも利用が可能です。

学外から利用する
こちらからログインしてください



このアイコンをクリックすると、
ログインページが開きます。
長大IDでログインすると、学内と同じ環境
で利用できます。

リモートアクセスログイン画面

学外から電子リソースを利用する (リモートアクセスサービス)
Using e-resources from off-campus (Remote Access Service)

ログイン / LOGIN

学外から電子リソースを利用する場合は、下記ログインIDのいずれかに長大IDを入力し、Login ボタンをクリックしてください。
なおサービスは学内IPアドレスから、学内に接続中の学生・教職員に限り利用可能です。
For using e-resources from off-campus, please enter your ID and password into a box and click Login button.
This service is limited to students and faculty and staff members of the Nagasaki University.

長大ID (CHODAI ID) :
パスワード (password) :

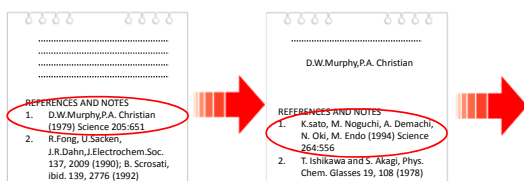
LOGIN

利用方法および注意事項 / Usage and Instructions

- 長大IDは、学内の統合認証サービスで利用するIDです。長大IDについては詳細はこちらをご覧ください。学内でのみ利用可能。Please refer to this page for the detailed CHODAI ID. (Off-campus only)
- 長大IDはログインIDとして利用でき、事前に発行された長大IDのIDとパスワードを照合する必要があります。
This service cannot log in the initial password. If you have an initial password, please change the password in on-campus in advance.
- 利用時のURLは www.library.nagasaki-u.ac.jp のURLになります。
The URL using is www.library.nagasaki-u.ac.jp (Off-campus only)
- 本サービスの利用は、学内でのみ利用可能。学内に接続中の学生・教職員に限り利用可能です。
If you do login only, the subscribers may suspend the access. Please keep the appropriate use in mind.
- 利用後は必ずブラウザを終了してください。一定時間経過後、自動的にログアウトされます。
Please close this browser when finished. When you don't use it at uniformly time, it is logged out automatically.

リモートアクセスに関するお問い合わせ先は sanso@nagasaki-u.ac.jp までお問い合わせください。
The inquiry about Remote access Service : sanso@nagasaki-u.ac.jp

4. 参考文献から論文を探す



参考文献を辿っていくことで、連鎖的に文献を探すことができます

参考文献が図書か雑誌かにより、資料の探し方が
異なりますので、正しい見極め方を覚えてください。

●和図書の場合

著者名 (出版年) 「論題名又は章題名」『書名』 編著名
出版者 掲載ページ

例) 飯沼賢司 (2010) 「環境歴史学の可能性」『環境と歴史学』
水島司編 勉誠出版 64-73

●洋図書の場合

著者名 (出版年) 論題名または章題名 編著名 書名
出版地 出版者 掲載ページ

例) Phillips SJ. (1995) Hypertension and stroke. In Laragh JH, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management, 2nd ed. New York : Raven Press. p.465-78.

→ 図書の場合は、必ず出版者の記述があります。

●和雑誌の場合

著者名 (掲載年) 「論文タイトル」『雑誌名』 巻数 (号数) : 掲載ページ

例) 時実象一 (2008) 「電子ジャーナルの長期保存」『情報の科学と技術』 58(2) : 84-88

●洋雑誌の場合

著者名 (掲載年) 論文タイトル 雑誌名 巻数 (号数) :
掲載ページ

例) Vega KJ, Pina I, Krevsky B. (1996) Heart transplantation is associated with an increased risk for creatobiliary disease.
Ann Intern Med, 124(11) : 980-3

→ 雑誌の場合は、必ず巻号の記述があります。

●電子ジャーナルの場合

論文著者名 (掲載年) 「論文タイトル」『雑誌名』 巻数 (号数) : 掲載ページ <入手先> (参照日付)

例) 久保百司ほか (2010) 「色素増感型太陽電池デバイスの量子論に基づくマルチスケールシミュレーションの開発と応用」『日本化学会情報化学部会誌』 27(5) : 119
<http://www.jstage.jst.go.jp/article/cicjs/27/5/119/_pdf/-char/ja/> (参照 2013-10-01)

電子ジャーナルに限らず、Web上の情報の場合は、
サイトのアドレスとサイトを閲覧した日付 (アクセス日)
が記載されています。

→ Web上の情報は変更されることが多いためです。

「ジャックス」や「プロナス」
って聞いたことがありますか？

長いタイトルの洋雑誌。
日本国内では、略称で呼ぶ場合があります。



◎米国化学会誌・・・化学分野最高峰の学術雑誌
Journal of the American Chemical Society (ジャックス)

◎ドイツ化学会誌
Angewandte Chemie International Edition (アング)

◎「Nature」「Science」と並ぶ重要な総合学術雑誌
Proceedings of the National Academy of Science (プロナス)

但し、これらの略称は日本だけのものであり、国際的には通じません。国際的な略称は、略語を用いた略誌名を使いましょう。

薬学系のジャーナルでよく見かける略語

Biochem. → Biochemistry	Chem. → Chemistry
immunolo. → Immunology	Int. → International
Lett. → Letters	Mol. → Molecular
Org. → Organic	Pharm. → Pharmacy
Rev. → Review	

ジャーナルの略誌名を調べる時は、下記のサイトを参考にしてみてください。

★Journal Abbreviation Sources

<http://www.abbreviations.com/jas.php>

→フルタイトルから略誌名を調べる、逆に略誌名からフルタイトルを調べることのできるサイトを複数紹介しています。

5. 引用と著作権について

引用とは、**自分の論旨を説明・証明するために、他人の文章や事例を引くこと**です。

引用の要件（著作権法第32条及び第48条が適用）

- ① 引用の必然性があること
- ② 自分の文章が主で、引用が従であること
＜目安としては、自分の文章の10分の1以下＞
- ③ 他人の文章を括弧でくくるなどして、自分の文章と区別すること
- ④ 出所（引用元）を明示すること

引用元を明らかにせずに、いわゆるコピーで論文を作成することは、**剽窃（ひょうせつ）**という犯罪行為です。

なぜ、他人の文章をまるごとコピーして、あたかも自分が書いた文章のようにして、論文を書いてはいけないのか？



➡ **全ての著作物は著作権法で保護されているから**

<参考文献>

1. 学術情報探索マニュアル編集委員会編『理・工・医・薬系学生のための学術情報探索マニュアル：電子ジャーナルから特許・会議録まで』丸善, 2006年
2. 吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』ナカニシヤ出版, 2004年
3. 藤田節子著『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』日外アソシエーツ, 2009年
4. 讃岐美知義著『超!文献管理ソリューションーPubMed/医中誌検索からクラウド活用までー』学研メディカル秀潤社, 2011年
5. 東京大学 医学図書館 PubMedの使い方
<http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/manual/pubmedmanual.pdf>（参照 2015-10-27）

この後は、雑誌書庫に入って、
実際の論文を探しに行きます

